



ふれあいの丘天文館だより



■申し込み・問い合わせ

ふれあいの丘天文館 ☎ (28) 3254

🌐 <http://www.fureai-tenmonkan.jp/>

梅雨が明け、晴れた日が多くなる8月は、星を見る絶好の季節です。見どころは、「こと座、さそり座などの夏の星座と天の川」、「ペルセウス座流星群」、深夜になれば「木星、金星」また「金星食」などと盛りだくさんです。

そんな中から下記イベントを企画しました。今年は特に小学生を対象に夏休み特別イベント「夏休み自由研究」も合わせて開催しますので奮ってご参加ください。



【初心者天文講座】

①『夏の星座と天の川を見よう』

◆日時 8月5日(日)
午後7時30分～9時15分

◆内容 夏の大三角を目印に夏を代表する星座のを見つけ方を解説します。また、65cm望遠鏡などを用いて土星、星雲星団を観望します。

◆定員 30名



②『星空継続観察(夏期)』

◆日時 8月18日(土)
午後7時00分～9時00分

◆内容 星空観察の方法を学んだ後、「肉眼による天の川観察」や「双眼鏡によること座の観察」を行います。また、夏の星座解説などを行います。

◆定員 20名

※①、②とも場所は、ふれあいの丘天文館。対象は、一般(中学生以下は保護者同伴)。参加費は、小中学生1名100円、大人1名300円(入館料として)となります。

【小学生対象夏休み自由研究】

①『星の動きを確認しよう(1日、1年の動き)』

◆日時 8月11日(土)
午後6時30分～8時30分

◆内容 星や星座は、時刻とともにどのように動いていくのか、また星の並び方は変わるのかなどを観察します。あわせて、65cm望遠鏡などを用いて土星、星雲星団を観望します。



②『月の動きを確認しよう(月の満ち欠けと動き)』

◆日時 8月19日(日)
午後6時30分～8時30分

◆内容 月は、時刻とともにどのように動いていくのか、半月や満月など形はちがっても同じなのかなど観察方法を解説します。あわせて、65cm望遠鏡などを用いて土星、星雲星団を観望します。

※①、②とも場所は、ふれあいの丘天文館。定員は20名。対象は、小学生(保護者同伴)。参加費は、小学生1名100円、大人1名300円(入館料として)となります。

【天文現象観望会】

『ペルセウス座流星群を見よう』

◆日時 8月12日(日) 午後8時～11時

◆場所 ふれあいの丘

◆内容 流れ星についての解説の後、芝生広場で観望します。

◆対象 一般(中学生以下は保護者同伴)

◆定員 80名

◆参加費 無料(時間内に天文館を利用されたい方は別途入館料が必要)



●申込方法

7月22日(日)から、電話または直接ふれあいの丘天文館までお申し込みください。

●受付時間

午前9時～午後9時

*なお、天候により内容変更の場合がありますので、あらかじめご了承ください。



流れ星の見方



★流星群の時は、どのくらい流れ星が流れるの？

予報どおりに出現することは難しいため、はっきりとしたことは言えませんが、条件が良ければ1時間に30個以上の流星が見られるようです。

★屋外で流星を見るときのコツは？

- ・街の明かりの少ない場所で、空の開けた場所ほど数多く見ることができます。
- ・1カ所に集中せず広範囲の空を探してください。東の空45°付近を「ぼーっと」見てください。
- ・長時間の観察には以下のような物を用意すると便利です。
 - 防寒用具(夜は予想以上に冷え込む場合がありますので、1枚多めに準備しましょう。)
 - 小さな椅子(楽に観察できます。)
 - シート、寝袋(寝ころんで楽に観察できます。)
 - 懐中電灯(赤色のセロファンをつけるなど周囲の人の目を刺激しないように配慮しましょう。)